

【二月の言葉（令和三年）】

## 鬼は世間ではなくて

### 私の中にいるのです

『腹が立ったら鏡を出して顔を見る 鬼の姿が無料ただで見られる』

お寺の伝道掲示板で見かけた言葉です。普段は菩薩のように穏やかな顔をしている人でも、怒りに狂えば鬼の形相になるものです。理性や知性ではコントロールできないのが私たちの感情です。私たちの内側には、鬼が住み着いていて、気分や機嫌によっては息をひそめています。が、いざ欲が満たされなかったり、思い通りにならなかったりすると、この鬼は途端に暴れ出します。

「他人に迷惑をかけないように」「相手を傷つけないように」、世間は道徳的な言葉に満ちています。そのとおりに生きていくことが人間としての理想かもしれませんが。しかし、日々の生活は周囲に迷惑をかけてばかりですし、こちらの善意が逆に相手への余計な押し付けになったりもします。

自己を自在にコントロールできると考えるのは思い上がりであって、自分自身の本性(正体)と向き合っていないだけです。

「私の中に鬼などいない」

あなたは本当にそう言いきれますか？